

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●保険証情報10万人分流出、医療機関から漏えいか

<http://mainichi.jp/articles/20151231/k00/00m/040/131000c>

<http://www.ijii.com/jc/zc?k=201512/2015123000294&g=soc>

<http://news.livedoor.com/article/detail/11011806/>



このニュースをザックリ言うと…

- 昨年12月30日（日本時間）、健康保険加入者約103,000人分の保険証番号・氏名・住所等の個人情報流出し、名簿業者に持ち込まれていたことが一部メディアで報じられました。
- 時事通信が厚生労働省へ行った取材によれば、被害を受けた加入者は沖縄県以外の46都道府県に及び、特に大阪府約37,000人、奈良県約25,000人、滋賀県約24,000人等、近畿地方に集中していたとのことで、また、電話番号など保険証に記載されていない情報も含まれていたことから、医療機関で作成されたデータが流出したとみられています。
- 保険証の不正な再発行による成り済ましや詐欺等に悪用される恐れがあるとされ、厚労省が現在調査を行っている模様です。

AUS便りからの所感等

- 詳細については今後厚労省等による調査結果が待たれるところですが、昨年6月の年金情報流出事件以降全国で多発している「標的型攻撃でのマルウェア感染」による流出であると推測されます。
- 度々指摘していることですが、単に「安易に添付ファイルを開かないよう注意する」だけではなく、感染時の流出、あるいは内部の犯行者による個人情報へのアクセスを食い止められるよう、UTMの導入等を含めた社内システム環境・ネットワーク構成の見直しを検討することが重要です。



毎日新聞

保険証番号

10万件が流出 医療機関から漏えいか

毎日新聞 2015年12月31日 01時40分 (最終更新 12月31日 07時08分)

社会 > 話題 > 速報 >

リストの記載は沖縄除く46都道府県

健康保険証の番号など個人情報を含む、全国約10万3000人分のリストが流出、名簿業者が一部を転売していたことが分かった。情報セキュリティーに詳しい専門家は「複数の医療機関から漏れた可能性が高い。これほど大量の医療関連の情報漏れは過去に例がない」と指摘。成り済ましや詐欺などに悪用される恐れがあり、厚生労働省が調査を始めた。今後、リストを警察当局に提出する方針。

リストの記載は沖縄を除く46都道府県に及び、近畿や四国に集中。取材に応じた全21の医療機関の氏名や住所など一列、一部は現在の保険証番号が記載された。

保険証情報10万人分流出＝医療機関から漏えいか－厚労省

健康保険証の番号や加入者の氏名、住所など約10万3000人分の個人情報が名簿業者に流出していたことが30日、厚生労働省への取材で分かった。厚労省は病院や薬局などの医療機関から漏れた可能性が高いとみて調査を始めた。

【特集】マイナンバーで動き出す「資産課税強化」

厚労省によると、流出したのは2005年3月以前に生まれた人のデータ。対象は沖縄県を除く46都道府県に及び、大阪府約3万7000人、奈良県約2万5000人、滋賀県約2万4000人など近畿地方に集中していた。

データには保険証の番号や氏名、性別、生年月日のほか、住所や電話番号が含まれているものもあった。後期高齢者医療制度の導入に伴って付与された番号がないことから、制度が開始された08年4月より前のデータとみられる。

livedoor NEWS

健康保険証番号を含む 大量の個人情報流出のイメージ



約10万3000人分
何者かが抜き取る?

名簿業者に流出

成り済ましなど 悪用の恐れ

健康保険証の情報が10万3000人分流出 名簿業者が転売
健康保険証情報、10万3000人分が流出 一部は住所、電話まで…名簿業者が転売、大阪は3・7万人も

●Outlookを起動しただけで感染する脆弱性

<http://news.mynavi.jp/news/2016/01/06/361/>



このニュースをザックリ言うと…

- 1月5日（米国時間）、セキュリティベンダーのカスペルスキー社より、Microsoft Officeのメールソフト「Outlook」に存在する脆弱性について警告が発表されました。
- 「BadWinmail」と名づけられたこの脆弱性は、WordやExcelでも利用されているOLE（Object Linking and Embedding）機能を悪用するもので、**不正なOLEオブジェクトが埋め込まれたメールを受信するだけでマルウェアに感染する恐れがある**とされています。
- Microsoftは12月9日（日本時間）にリリースした月例のセキュリティパッチで脆弱性を修正しており、カスペルスキーはパッチを確実に適用することを呼びかけています。

AUS便りからの所感等

- MSのセキュリティ情報「MS15-131」の「BadWinmail」に該当する項目「Microsoft Office RCE の脆弱性 - CVE-2015-6172」では、**Outlookでの回避策として、メッセージのプレビュー等を無効にすることが挙げられています。**
- 特にOutlookを利用する場合、今後同様の脆弱性が指摘され、攻撃を受けた場合にマルウェアへの感染等を抑止するためにも、普段からプレビュー等は無効にした状態で利用してほしいところです。
- マルウェアに感染する可能性を可能な限り下げられるためにも、パッチの適用、回避策の実行に加え、アンチウイルス・UTMによる防御と各種対策を組み合わせることが重要でしょう。

マイナビニュース

Outlookを起動しただけで感染する脆弱性 - MSはパッチ配布済み

[2016/01/06]

カスペルスキーは1月5日、Microsoft Officeに含まれているメールソフト「Outlook」で新たに見つかった脆弱性について解説した。

Outlookの「BadWinmail」という脆弱性は、メールを開かなくても、Outlookを起動しただけでウイルスに感染させる恐れがある。その名称は、発見したセキュリティリサーチャーのリー・ハイフェイ（Haifei Li）氏がつけたもの。

原因となるのは「OLE(Object Linking and Embedding)」と呼ばれる機能。これは、MS Officeのファイルにオブジェクトを埋め込むための機能で、WordやExcelのファイルだけでなく、Outlookのメールにも埋め込むことが可能だ。

OLEは、埋め込まれたすべてのオブジェクトを実行する仕様となっており、セキュリティ対策がほとんど考慮されていない。オブジェクト内に悪意あるコードが含まれていた場合でも実行してしまう。

攻撃者は、OLEを悪用し、エクスプロイトが添付されたメールを送信する。Outlookは、標準でメールの起動時にメールを受信する設定になっており、Outlookの起動と同時に悪意のあるメールを受信し、攻撃が実行されてしまう。

カスペルスキーは、今回の件からOutlookのセキュリティ対策が不十分であることを指摘している。ブログでは、Flashを例に出し、セキュリティ対策を紹介している。

●Flash更新しない層が2割弱、Javaでは3割…IPA調査

http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20151229_737384.html



このニュースをザックリ言うと…

- 12月24日（日本時間）、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）より、PCでのインターネット利用者およびスマートデバイス（スマートフォン・タブレット）での利用者それぞれ5,000人ずつを対象とした、**2015年度の「情報セキュリティの脅威に対する意識調査」の結果が発表されました。**
- (<https://www.ipa.go.jp/files/000050002.pdf>)

- PC利用者に対する調査の一例としては、Flash Playerをインストールしていると回答した者のうち、それを「更新している」との回答は81.8%、また同様の設問でAdobe Readerについては74.1%、Javaについては70.9%となっており、即ち**Flash Player利用者の2割、Java利用者の3割等がアップデートを行っていない可能性がある**とされています。

AUS便りからの所感等

- Flash Playerには自動更新機能がある（Windows 8以降のIE用についてはWindows Updateで更新されます）ため、「更新していない」と回答したユーザの中には意識していないうちに最新バージョンにアップデートされているケースもある程度は含まれているとみられます。
- IPAが行った調査は前述した例以外にも多岐にわたる項目で調査が行われており、アンチウイルスやUTMの導入といった以前より言われているものから、近年のトレンドまで、セキュリティ面で注意・啓発すべきポイントを押さえておくべきでしょう。

INTERNET Watch

